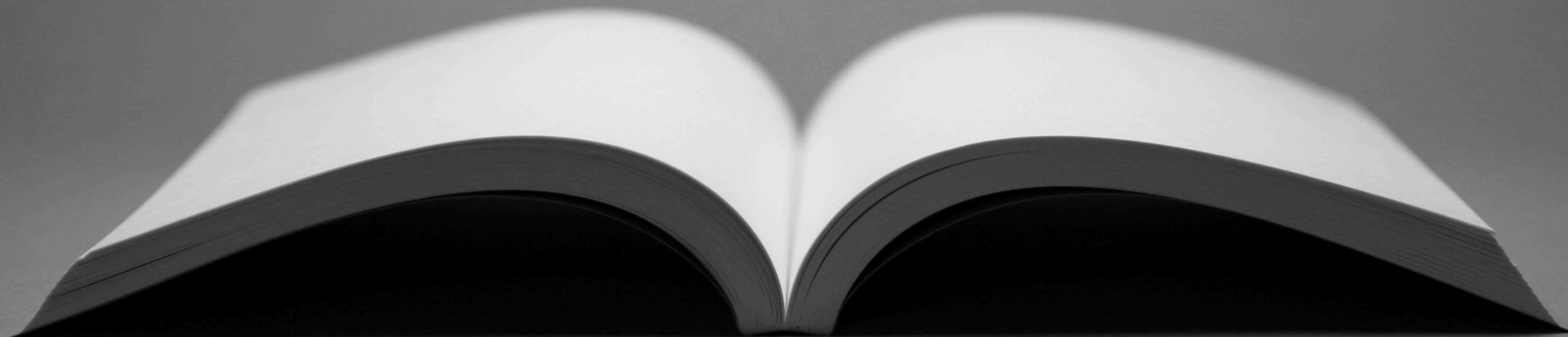


特許情報活用知識型コンテンツ

Knowledge 25002. ベンツ技術調査の落とし穴(2)

ベンツ技術調査の落とし穴 (2)

～ なぜか、取下る ～



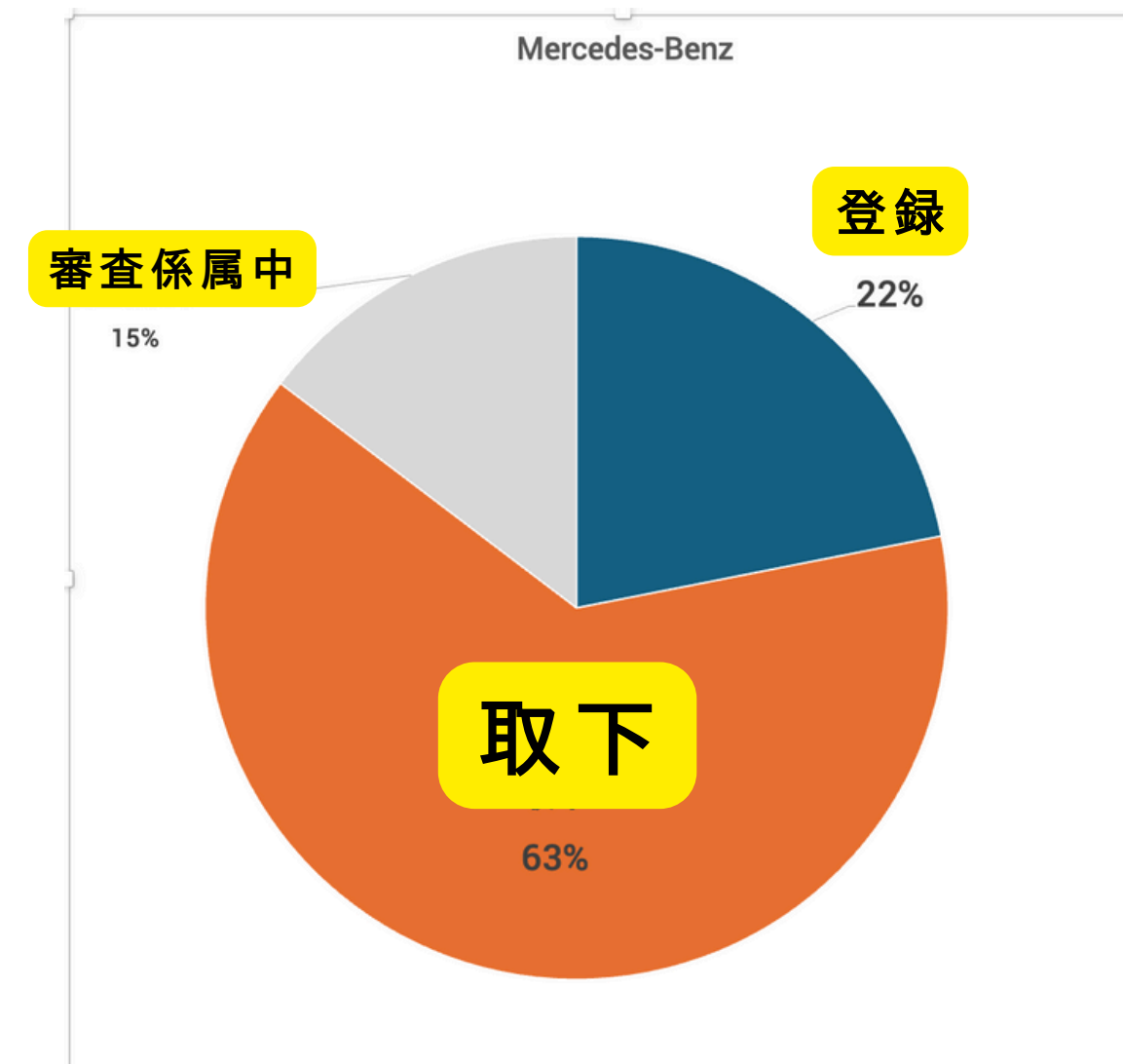
Mercedesの特許出願

なぜ、60%も「取下」る？

自発的な取下が多いのが、Mercedes！

5年前（2020年）にMercedesが特許出願した「審査請求をしないで取下申請をする」所謂自発的な取下をする特許出願が多いことが右の円グラフから分かります。

ちなみに、ドイツの特許庁では審査請求期限が日本の3年ではなく7年に設定されています。そのため、2020年の出願はまだ審査請求期限を迎えていませんが、それでも取下率は60%にも上っています。

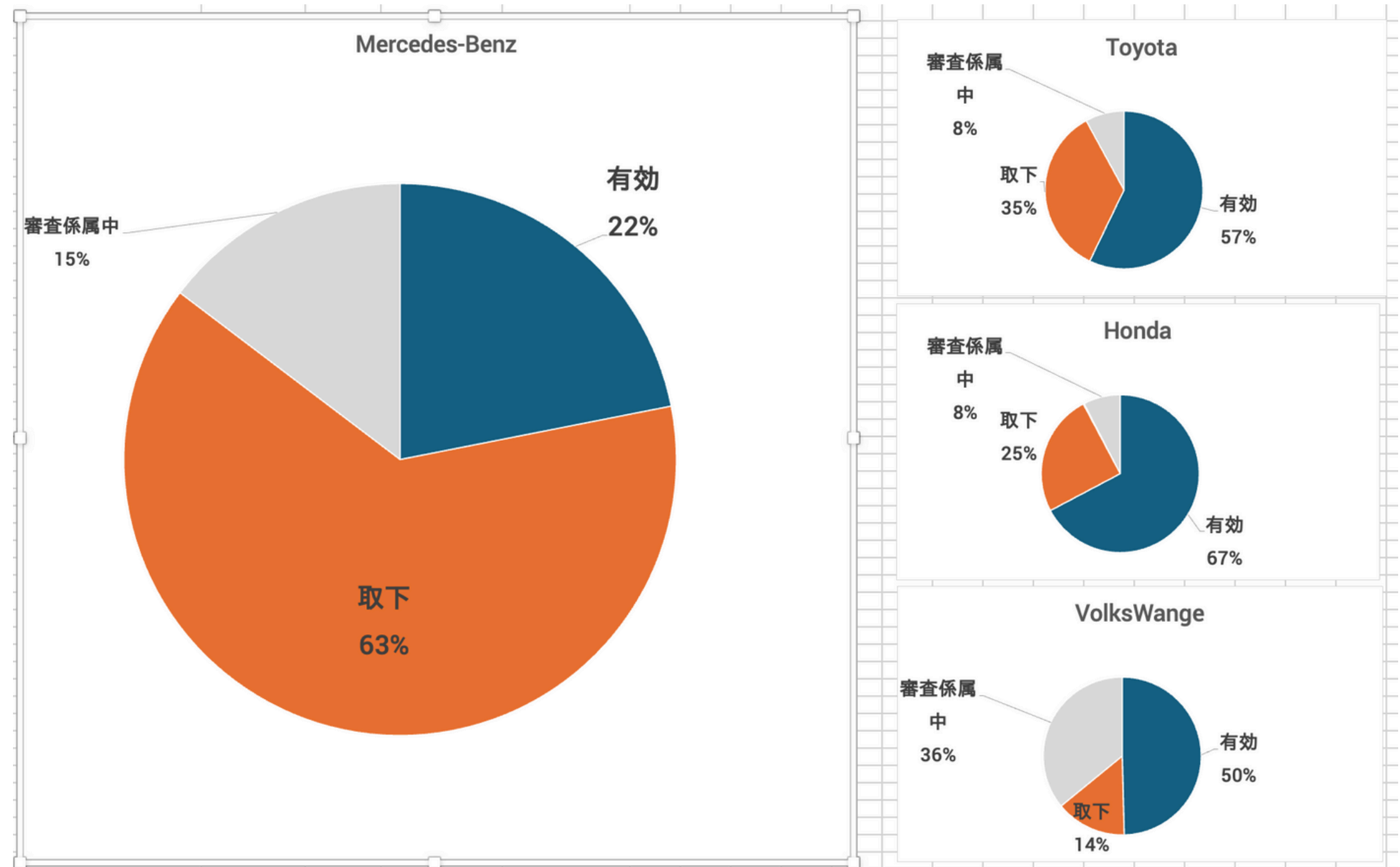


5年前出願1519件の
Mercedes特許のリーガルステータス

企業比較

グラフで取下率の比較結果を説明します。

ベンツが60%を超えているのに対して、トヨタ、ホンダ、フォルクスワーゲンの3社が35%以下と大きく異なることが顕著でした。



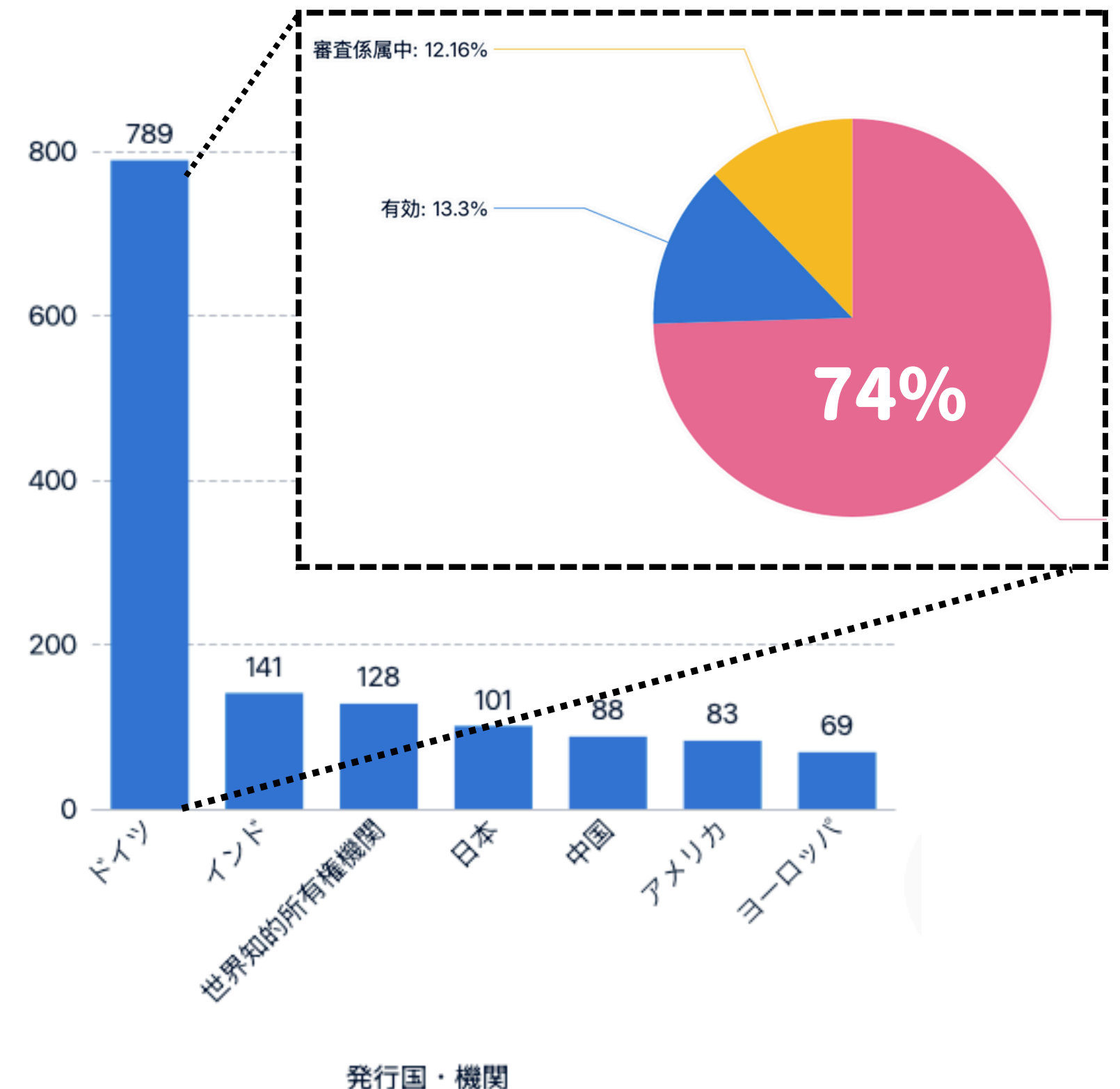
Mercedes技術の調べ方

ベンツの技術調査については、これまでにドイツ特許を含む包括的な検索方法を説明しました。

右側のグラフは、ベンツの国別特許出願状況を示す棒グラフと、ドイツ特許に関する取下率を表す円グラフです。

2020年の新規出願分のうち、74%が取下げステータスとなっています。ただし、これらの出願技術の中には、実用性がないために取下げられたものだけでなく、他の戦略的・事業的理由によって取下げられたケースも含まれている点に留意が必要です。

MERCEDESの出願国 ドイツ特許の取下率



Mercedes技術の調べ方

まとめ

ベンツ技術を知りたいのであれば、特許調査が有効です。その際、「取下」ステータスの特許やドイツ特許も必ず確認をしてください。

省略せずに、すべてチェックすることが技術を把握する上で、必要です。



「最新技術を見落とさない」調査

アナリスリサーチ社は、最新技術の見落としを防ぐ特許調査を行っています。

174カ国を対象に、リーガルステータスの制限なく広く情報収集し、毎日公開される特許にも対応しています。



■ 販売中



■ 受付中；カスタマイズ対応

- ご希望のテーマに合わせた技術構想支援資料の作成も承っています。
- ご要望がありましたら、お気軽にお知らせください。